



1月・2月行事日程一覧

1月17日（日）【測量調査】（要申込）
山手銀山城測量調査 10

1月22日（金）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査 27「草戸町」

1月23日（土）【年始恒例・歴史講演会】
「大正期の芦田川洪水と福山義倉の救済」

1月23日（土）【年始恒例】（同封のハガキで出欠）
「平成28年度総会」

1月23日（土）【年始恒例】（同封のハガキで出欠）
「新年会 in 備後遺族会館」

2月6日（土）【ぶら探訪 36】（要申込）
「笠岡を歩く Part 3」

2月7日（日）【測量調査】（要申込）
山手銀山城測量調査 11

2月21日（日）【徒歩例会】（要申込）
「安芸国本郷 高山城に登る」

2月27日（土）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査 28「今津町」

1月9日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
1月16日（土）【中世史部会】「中世を読む」
1月29日（金）【古文書講座】「古文書入門」
2月13日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
2月20日（土）【中世史部会】「中世を読む」
2月26日（金）【古文書講座】「古文書入門」
2月27日（土）【古代史部会】「古墳講座」

- ◎1月の「古文書入門」は第5金曜日です。
- ◎1月の「古墳講座」はお休みします。

事務局便り

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。1月は恒例の「総会」です！会員の皆様はぜひ、ご参加ください。参加できない場合は、必ず返信ハガキにて委任状をお願いいたします。備陽史探訪の会は民間の団体です。スタッフの奉仕と会員ひとりひとりのご協力・ご参加で成り立っています。年会費納入の振込み用紙を同封しておりますので、会費納入もお忘れなきようお願い申し上げます。

2016（平成28）
行事案内
1月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824
広島県福山市多治米町 5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

新年明けましておめでとうございます。
さて、昨年は35周年記念行事にご協力頂きありがとうございました。

35周年は幣会にとりまして、過去を振り返る年でありましたが、また、未来に向けて新たな一步を記した年でもあります。歴史は過去の事物では無く、現在から未来に向けた一筋の道でもあります。備陽史探訪の会も、過去から現在、未来へと飛躍しなければなりません。幸い、昨年末には悲願であった会員300名の壁を突破することが出来ました。会員数の多寡で価値が決るわけではございませんが、多くの人の参加頂ければ、それだけ活動の輪が広がり、厚みが増すものです。本年も引き続き、こうした昨年の活動を維持し、質・内容共に高い水準を目指したいと思います。会員の皆様のより一層のご協力をお願いして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成28年正月

備陽史探訪の会会長 田口義之

年会費納入のお願い

備陽史探訪の会は会計及び各行事などすべて1月1日始まり12月31日で締める暦年で活動しています。

平成27年分の年会費納入用の振込取扱票を今回の行事案内に同封しております。2月末までにお振込みをお願い申し上げます。

一般会員 4,000円 夫婦・親子会員 5,000円

大学生・専門学校生会員 2,000円

何卒、よろしくお願いいたします。

1 月 23 日 (土)

新年恒例

記念講演会

【日 時】 1 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分～

【場 所】 備後遺族会館 (丸之内)

【演 題】 『大正期の芦田川洪水と福山義倉の救済』

平下 義記 氏 (広島大学文書館事務補佐員、福山大学・広島経済大学非常勤講師)

会員でない方も入場できます。(会費無料)
事前申込不要。直接会場
で受付いたします。

PONT

福山の芦田川は、地域に豊かな土壌を与えてくれた反面、しばしば大規模な洪水をもたらす存在でもありました。特に大正 8 年の大洪水は、その被害の規模と範囲において、最大のものでした。災害の現場では、どのような被害が起き、誰がそれを救助していたのか？ そして、人々の「日常」生活はどのように取り戻されていったのか？ (あるいは取り戻せなかったのか?) このような問題を考えることは、地域に独自の歴史像を災害史の観点から描き出すことにつながるといえます。

そこでこの度、大正 8 年の芦田川洪水とそれに対する福山義倉の救済を取り上げて、できうる限り上記の問題に迫ってみます。福山義倉は、地域の名望家が集まって成立した救済団体ですが、その所蔵文書である「義倉文書」には、救済の方法をめぐる地域社会と義倉のやり取りが細かく記録されています。つまり、洪水に際して地域社会の側にあった資金需要をそれ自体として明瞭に捉えることができます。その意味で、この講演会の趣旨に合致した検討素材と言えましょう。

講師プロフィール

1985 年 11 月、広島県広島市生

2008 年 3 月、広島大学文学部卒

2013 年 3 月、広島大学大学院文学研究科修了 (博士 (文学) 取得)

2014 年 4 月～ 広島大学文書館事務補佐員、福山大学・広島経済大学非常勤講師

2016 年 4 月～ 広島経済大学経済学部経済学科に助教として着任予定。

研究としては、福山義倉を主たる対象として、近世から近現代の地域社会の歴史を、名望家を中心とする資金循環の変容過程として描き出すことを目的としている。主要業績としては 1. 「近世後期瀬戸内農村における村内土地取引構造の研究」『社会経済史学』78 巻 1 号、2011 年 2. 「明治期における福山義倉の組織変革」『史学研究』282 号、2013 年 3. 「明治の中の「旧藩」—明治 24～26 年旧福山藩領「義倉事件」の分析—」『史学研究』287 号、2015 年 等がある。

総 会

【日 時】 1 月 23 日 (土) 午後 3 時 45 分～ 4 時 45 分

【場 所】 備後遺族会館 (丸之内)

【議 題】 ◎平成 27 年度事業報告

◎平成 27 年度決算報告

◎平成 28 年度行事計画

◎平成 28 年度予算案

◎その他

ハガキで
返信

新年会

総会終了後、開催。

【日 時】 1 月 23 日 (土) 総会終了後、開催します。

【場 所】 備後遺族会館 (丸之内)

【会 費】 2,000 円 (飲み物付)



ハガキで
返信

それぞれの出欠について、同封のハガキで
1 月 19 日までに必ず返信お願いいたします。

1 月 17 日(日)

測量調査

山手銀山城測量調査 10

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

【集 合】 午前9時
里山広場（弘法の水の南側）

要
申込

【その他】

※午後4時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。

※なお、次回は2月7日（日）に実施予定。



1 月 22 日(金)

分布調査

中世石造物調査 27

第27回目は、草戸町の北部を調査します。事前の草戸町における所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後1時30分
明王院 駐車場
(福山市山市草戸町 1473)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、次回
2月27日（土）は
今津町で実施予定。



2 月 6 日(土)

ぶら探訪 36

笠岡を歩く Part 3

要
申込

【集 合】 午前9時
JR笠岡駅（北口） ※雨天決行
(JR福山駅発 8 時 30 分発乗車、240 円)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【募集数】 40 名

【講 師】 網本 善光 (古代史部会長)

【主な見学地】

古城山公園、笠岡港、笠岡市立郷土館など

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は 12 時頃、JR 笠岡駅の予定です。



笠岡の市街地を歩く第3弾は、笠岡の市街地を見下ろす景勝地「古城山」を訪れます。村上氏により城が築かれ、後には毛利氏の城となりますが、江戸期に廃城。明治期には港の埋立のため山頂が削られ、城の遺構はほとんど残っていませんが、瀬戸内の景勝地として、桜の名所として、また数々の文学碑の残る公園となっています。

また、港町笠岡の歴史を今にとどめる笠岡港を見ながら、市立郷土館まで、ぶらぶら歩いてみようと思います。

2 月 21 日(日)

徒歩例会

安芸国本郷 高山城に登る

要
申込

【集 合】 午前 9 時 30 分

JR 本郷駅交番横の「西側広場」

※福山駅からは 08:32 糸崎行に乗車。

糸崎にて岩国行に乘換え、09:22 本郷着
(大人片道 760 円)

【参加費】 400 円 (会員) 600 円 (一般)

【募集数】 50 名

【講 師】 末森清司 (高山城研究家)、沖 正明

【その他】

※全行程は 8km (内、山歩きは 2.5km)

※弁当飲料持参

※麓の登り口には有りますが、山中・山城跡には便
所はありません。

※山城への往来路は岩場急斜面有。山城跡内は落葉
多く、杖必要

※午後 3 時頃「JR 本郷駅」解散予定。

(15:26 本郷発、15:42 糸崎着。乗換で、15:50
糸崎発、16:17 福山着)



高山城跡は東に佛通寺川、西と南は沼
田川が天然の堀の役目を果たす、丘陵の
山塊で、中央に広い谷を挟み南側、北側
の二つの山稜尾根から成り一種独特な
「連郭式中世山城」の遺構です。

375 年間小早川氏の本拠地として栄
えました。

3 月 5 日(土)

ぶら探訪 37

尾道 対岸 向島兼吉周辺を歩く

弥生三月ともなれば海の色が鮮やかになり潮の香り
や対岸から見る尾道市外の風景、民家の薨や寺の塔、
そして尾道三山の緑と風と波の匂いなどにも魅せら
れるかもしれません。これぞ箱庭的古き街の尾道が
「日本遺産」になったのも納得できます。今回は向島
町 (旧向島西村) の兼吉地域をのんびり歩きます。

【集 合】 午前 9 時 30 分

しまなみ交流館前 ※雨天決行

(兼吉渡船からフェリーで対岸へ・

フェリー代 (大人 1 人片道 110 円各自負担)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【募集数】 30 名程度

【講 師】 岡田宏一郎 (近世近代史部会幹事)

【主な見学地】

ロケセットの建物「待合所」・「ろ」の建物・文殊菩薩・
竜王山 (兼吉の丘)・兼吉町歩き・向島捕虜収容所 (向
島紡績後)・亀山八幡神社・除虫菊じん・御綱石、他

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は尾道駅前 (12 時 30 分頃の予定)

予告

3 月 13 日(日)

バス例会

雪舟ゆかりの地益田に七尾城を訪ねる

山陰の要衝 益田。鎌倉時代 (1192 年) に益田兼
高が益田城 (七尾城) を築いて以来、約 400 年、石
見の中心地として栄えてきました。

また、益田氏の招きにより雪舟は晩年を益田で過
ごしており、数々のゆかりの品が残されています。

石見の雄・益田氏と世界十大文化人に選ばれた雪
舟の足跡を益田市に辿ります。

【主な見学地】

雪舟の郷記念館・大喜庵・多根兼政の墓・小丸山古墳・
万福寺・七尾城・医光寺など

【事前学習会のご案内】

2 月 20 日 (土) 午後 2 時～、市民参画
センターにて事前学習会を行います。

どなたでも参加できます。

※ 3 月開催の行事については、2 月 1 日よ
り募集を開始します。それ以前の申込は無
効となりますので、ご了承ください。

備後歴史研究会新聞

第5号

古代史部会長網本善光氏の

今さらながらの多才ぶり！

本会古代史部会長の網本善光さんは、会員歴も長く、部会長も務められ、その飄々たる人柄も、絶妙な講演テクも、一度でも受講した人は充分御存知の人も多いでしょう。

中国新聞に連載された『岡山ぶらりスケッチ紀行』の本を購入された方もまだ多いのでは？ トークだけでなく書く方にも才能がありで、びっくりポイントなお方なのですが、網本さんの魅力はこれだけじゃない！

そうです！知る人ぞ知る！というか、その世界では有名すぎる有名人なでした！今回は、古代史とは関係ないですけど、備陽史探訪の会の「び」の字もありませんが、のっけてしましましょう！

今後のますますのご活躍、期待しております！もちろん、本会古代史部会長としても！

探偵コスプレでガイド



「巡・金田一耕助の小径」実行委員会（岡南市など）

網本善光さん(55)

ソフト帽にマント、はかま、げたのいでたち。

作家横溝正史（1902～81年）の推理小説

でおなじみの探偵金田

一耕助になりきる。笠

岡市の島を舞台にした

推理小説「獄門島」をテ

ーマに、市などが今秋実施した島クルーズで参加者40人の案内役を務めた。



横溝が戦中戦後、岡山県へ疎開したのが創作のきっかけとなった作品だ。参加者には「横溝は

横溝作品の舞台PR

あみもと・よしみつ 1960年、岡南市生まれ。筑波大第一学群人文学類卒。83年、岡南市職員。商工観光課などを経て2012年6月から健康医療課長。著書に、金田一耕助などをテーマにした中国新聞井笠版で99～03年に連載した記事をまとめた「岡山ぶらりスケッチ紀行」がある。

岡岡には来ておらず、知 観光担当だった97年、初人の話から作った「獄 披露した金田一のコスプレが話題に。所属する推理クラブで、金田一が小説で初めて登場した総社市と周辺を巡る催しを企画し、東京や大阪から80人が参加。「人気の高さを実感した」

市や倉敷市などが2009年に発足させた「巡・金田一耕助の小径」実行委員会のオブザーバ

！。横溝作品にちなむコスプレイベントや映画ロケ地訪問で、ガイドを買って出ている。

中学生で出合った横溝作品。「複雑な人間関係や奇抜なトリックに引かれた」。高校生の頃にあった獄門島の映画ロケに、地元作品を再認識した。岡岡市職員となり、

（谷本和久）



中国新聞 2015 年
(平成 27 年)
12 月 12 日 (土曜日)
中国総合版

今回の備後歴史クイズは少々難しかったでしょうか？ 会長からの挑戦状（？）です！ というのは冗談ですが、この備後歴史クイズも将来的に備後歴史検定に昇格（？）させたいなあと思っております。そこで、より専門的なクイズも必要ではないかと、いろいろ試行錯誤中です。今しばらくは「備後歴史クイズ」でいくと思いますので、よろしくおつきあいください。また、今回からネットで簡単に回答応募できるようになりました。正解者にはささやかな景品も！ 奮ってご応募ください★

田口義之
新備後城記
その5
九鬼山城
神石高原町小畑

その城の雄姿は意外な所からも目にする事が出来る。国道182号線を東城方面に行くと、道の駅さんわを過ぎた辺りから、左手の山並みを注視すると、折り重なるような山ひだの中、一段高く山頂を平らにした山が見えてくる。神石郡最大の国人として有名な馬屋原氏の居城九鬼山城だ。「九鬼」の城名はいかに荒々しく戦国の城塞を彷彿とさせるが、地図を開くと、所在地の地名「久木」から来た城名だと分かる。以前は、井関から小畑に至る道の傍らに古ぼけた「九鬼城址」の標柱が立っていたが、現在はあるかどうか。城址を訪ねるには、近くまで来て住民の方に道を訪ねるのが良いだろう。



くつきりと頂を平らにした九鬼城山の雄姿

た尾根を4重の空堀で断ち切り、山頂を削平して城郭としたもので、山頂主曲輪は南北に長く、周囲に帯曲輪と厳重な畝状堅堀群をめぐらせている。また、主曲輪群から西北に延びた丘陵上にも同じような堀切で区画された曲輪群が存在し、或いは、こちらの方が初期の九鬼城で、その後背後に堅固な城郭を築き、本城としたものかも知れない。

馬屋原氏には「平姓」を称した一族と、「源姓」を号した一族があったが、九鬼城に居城したのは前者の馬屋原氏で、伝承では小畑西方の上村の有井城に居た馬屋原正国が永正年間新たに築城して本拠としたという。戦国期には城主兵部大輔信春が一族を代表して活動し、その子宮寿の早世後には、敷名毛利元範の子元信が相続して馬屋原兵部大輔と号した。天正末年の知行高は約九百貫で、子孫は長州萩に移り、毛利家の大組士として存続した。

びんご歴史クイズ 15

- ① 国史跡「宮の前廃寺」の伽藍配置は次の内、どれですか？
イ) 四天王寺式 ロ) 法隆寺式 ハ) 法起寺式 ニ) 薬師寺式
- ② 足利尊氏は全国に安国寺と利生塔を建てましたが、備後の利生塔はどの寺に置かれたのでしょうか？
イ) 鞆安国寺 ロ) 常福寺 ハ) 明王院 ニ) 尾道浄土寺
- ③ 元禄13年の「備前検地」はなぜ、備前検地と呼ぶのでしょうか？
イ) 水野家の領地が備前にあったから ロ) 池田備前が検地奉行だったから
ハ) 水野家の旧領が備前に編入されたから
ニ) 備前岡山藩が幕府の命令で実施したから
- ④ 明治の啓蒙思想家逢田次郎の生家跡があるのは？
イ) 芦田町 ロ) 神辺町 ハ) 加茂町 ニ) 山野町
- ⑤ 財団法人義倉の起源「福府義倉」の名付け親は？
イ) 頼山陽 ロ) 菅茶山 ハ) 門田朴斎 ニ) 北条霞亭

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」(第366回) ◆2月27日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 網本善光(部会長) 【内容】「指定文化財が語る備後の歴史(その1)」 古墳時代の幕開け～潮崎山古墳・石槌山古墳ほか」 ※資料代 100 円が必要です。 平成28年は、1年を通じて、福山市内の指定文化財を紹介しながら、それらが語る古墳時代の福山をお話しようと考えています。 なお1月の「古墳講座」はお休みします。 	「中世を読む」(第337回) ◆1月16日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 杉本憲弘 【内容】「銀山城跡の中間報告」 ◆2月20日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 原田寛雄(副会長) 【内容】「3月バス例会「雪舟ゆかりの地に七尾城を訪ねる」事前学習会」 ※資料代 100 円が必要です。	「近世福山を読む」(第35回) ◆1月9日(第2土) 午前9時45分 ◆福山市民参画センター ◆講師 田中伸治 ◆内容 「福山城天守の復元を考える」 ◆2月13日(第2土) 午前9時45分 ◆ふくやま市民交流館 ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 第一部「福山城下町 - (古) 吉津町・道三町・長者町 -」 第二部「武家屋敷 - 西町・東町 -」 ※参加費無料。但し一般の方は100 円が必要です。 ※2月の会場はふくやま市民交流館です。おまちがえなきよう。駐車場は参画センター第2駐車場をご利用ください。

古文書講座 「古文書入門」

初回のみ

**要
申込**



1月は第5金曜日です。
お間違えなきように！

◆1月29日(第5金) 午後7時～
◆場所 福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

◆2月26日(第4金) 午前10時～
◆場所 福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

※参加費無料。
但し新しいテキスト(古文書)に入る時、
テキスト代が必要となります。
(300円～500円程度)

2月は場所が
変更です。
お間違えなき
ように！



史 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

会報 188 号原稿募集！

2月発行の会報 188 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。1月16日(土)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)